

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

大野市 教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	有終西	小学校	本校の体力向上の取組みについて	冬季は縄跳び大会に向けて、業間なわとびに取り組んだ。	縄跳び大会に向けて意欲的に練習する姿が見られ、縄跳び大会では多くの児童が目標を達成することができた。
2	有終南	小学校	本校の体力向上の取組みについて	週2回の業間体育・体カテストを受けての業間体育	マラソン大会やなわとび大会の期間は、自分の目標に向かって取り組む児童の姿が見られた。
3	有終東	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	なわとび大会(縦割り班の8の字跳び)に向けた、朝と昼休みの練習。	冬の運動量が低下する時期に、縦割り班ごとに目標をもって8の字跳びの練習に取り組む、毎日楽しく身体を動かすことができた。
4	小山	小学校	本校の体力向上の取組みについて	地域の自然環境および学校の規模を活かしたウィンタースポーツに取り組む。 ・普段の授業やIZUMIクロスカントリースキー場でのクロスカントリー体験(3~6年) ・はぴリンクでスケート体験(1・2年) ・校庭や中庭での雪遊び	クロスカントリースキーやスケートなど、雪国ならではのスポーツに親しみながら体力向上を図ることができた。
5	下庄	小学校	本校の体力向上の取組みについて	各月ごとに重点的に取り組む領域を定め、体育授業の導入など、関連する基礎運動を取り入れた。	マラソンなどの体育的行事に関連させて重点目標を定めたことで基礎的な体力向上につながった。その結果、体カテストでは昨年度よりも県平均を下回っている種目が減った。

6	上庄	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	学校全体での取り組み ・授業及び体育的な行事における目標の設定と振り返りの充実 ・体育委員会と連携した、縦割り班でのスポーツイベントの開催	93%の児童が「体育の授業や休み時間等に積極的に体を動かしている」と回答した。この結果から、学校生活全体を通じて、多くの児童が体育的活動に対して主体的に取り組んでいると考えられる。
7	阪谷	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育館に、野球用具(大谷グローブ)、フリスビー、プレイボード、バドミントンラケット、鉄棒などを常設し、安全を確保した上で楽しんで運動に親しめる環境を整えた。	9割以上の児童が業間や昼休みに好きな運動(遊び)に取り組んでいた。教員も一緒に体を動かし、動き方・遊び方のコツを伝え、仲間とともに体を動かすことの楽しさを共有した。
8	富田	小学校	その他	「はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト」に全校で取り組んだ。児童会の保健体育委員会が中心となり、取り組む種目や期間を決め、全校児童に参加を呼びかけた。	体育授業だけでなく、休み時間にも児童同士で楽しみながら取り組む姿が多く見られた。上位記録の児童をお昼の放送でお知らせすることで、さらに取り組む児童が増えた。
9	和泉	小学校	本校の体力向上の取組みについて	和泉地区の豊かな自然を生かして、3学期には全校でアルペンスキー学習に取り組む。校区に2つあるスキー場でそれぞれ1回ずつ学習会を行い、児童が様々なコースでアルペンスキーを楽しみながら、体力と技術の伸びを実感できるようにする。	スキー競技が盛んな地域の特性と気候を生かし、アルペンスキー学習会を実施した。児童は技能別に分けた班毎でのスキー学習に意欲的に取り組み、技能と意欲の向上につながった。(2回目は2月13日に実施予定)